

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.47

2018.4

遺伝性 乳がん卵巣がん 症候群 (HBOC) とは？

乳がんの5~10%は、遺伝的な要因が強く関与して発症していると考えられています。その中で最も多くの割合を占めるのが、遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)です。HBOCは、BRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子の病的な変異(変化)が原因で乳がんや卵巣がんを高い確率で発症する遺伝性のがんの1つです。親から子どもに遺伝子の病的な変異が受けつがれる確率は、性別に関わりなく、1/2(50%)です。



🎀 HBOCと診断されたら？

HBOCの診断には、血液を用いて遺伝子検査を行うことが必要です。HBOCと診断された患者さんの血縁者の方で、同じような遺伝子変異が見つかった場合には、MRIを用いた乳がん検診や、乳がんや卵巣がんのリスクを下げるために、乳房を切除する手術や卵巣および卵管を切除する手術が推奨されています。ただし、発症していない方で予防的に乳房や卵巣を切除する手術は、病院内の倫理委員会にて承認を受けた一部の医療施設に限定されています。

現在は、遺伝カウンセリング、遺伝子検査、検診、予防について保険診療は認められておらず、それらにかかる費用に関しては、全額自己負担となります。

🎀 受けるかどうか、ご自身で決める検査

遺伝子検査は、誰かに勧められて受けるものではありません。遺伝子検査を受けてわかること、わからないこと、検査結果にどう対応するか、どのような影響が生じる可能性があるかなど、よく考えた上で、患者さんご自身で受けるかどうかを決める検査です。

当院でも遺伝カウンセリング、遺伝子検査を行っておりますので、ご希望の方は、担当医もしくは乳がん看護外来でご相談ください。

HBOCの可能性を 考慮すべき状況

●家系内に乳がんや卵巣がんになった人がいる

●乳がんや卵巣がんの両方を発症する

●若年で乳がんを発症する

●トリプルネガティブ(エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体をもっていない、HER2発現がないタイプ)の乳がんを発症する

●両方の乳房にがんを発症する

●男性で乳がんを発症する

●片方の乳房に複数回乳がんを発症する

●家系内にすい臓がんや前立腺がんになった人がいる



市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

乳腺外科

西前 綾香